

心理臨床における「その人らしさ」の 表出過程の研究

大谷 真弓（おおたに まゆみ）
工学部 総合人間学系教室 准教授

用途・応用分野：心理臨床・学生相談・芸術療法・陶芸



■ 研究概要

人間はさまざまな媒体（言葉・表情・行動・創作物等）を通して、自らについて表現している。それらは、確かに存在する「他者」に受け止められるまでは、単なる「表出」にとどまるが、「他者」に受け止められた時に、本人にとって意味のある「表現」へと昇華する。

「他者」に受け止められたというのは、いかなる状態なのか。どのような時に、「表出」が「表現」へと昇華するのか。こうしたプロセスについて、心理臨床経験をベースとして、文献研究および事例研究を行っている。

■ 研究の特徴

普段、本人ですら気づいていない「表出」は、それを読み取る他者との間で、「表現」として立ち現れてくる。その過程について、事例を中心に研究している。

- ①しっかりと受け止める「他者」の存在により、「その人らしさ」が表現されてくる
- ②心理臨床に基づいている

